

11階西病棟サテライトNSTー肝胆膵内科ー

当病棟では、肝胆膵内科を中心に、肝疾患・膵疾患の入院患者さんを主たる対象としつつ、乳腺外科・膠原病内科の患者さんにも対応しています。週1回、食事摂取量・輸液内容・検査値をふまえて栄養状態を評価し、必要時にはNSTカンファレンス（毎週水曜）で医師・看護師・薬剤師・管理栄養士が連携して栄養療法を検討します。



ー 継続的な介入と支援 ー

慢性進行性疾患や化学療法中、再入院を繰り返す患者さんも多く、そのたびに低栄養へ傾きやすい傾向があります。低栄養は免疫低下や感染症、疾患の重症化を招くため、早期介入と栄養状態の維持が重要です。このような背景から、当NSTでは介入後も栄養状態が安定するまで、または退院まで継続的にフォローを行っています。また、必要に応じて栄養食事指導も実施し、退院後の生活支援や再入院予防にもつなげています。

ー 多職種で取り組む個別支援 ー

病態に応じた適切な栄養プランの立案に加え、患者さんそれぞれの摂食意欲・嗜好・服薬状況・ADL（日常生活動作）など実生活に即した要因を考慮しながら、患者さんにとって現実的で継続可能な栄養支援を目指しています。